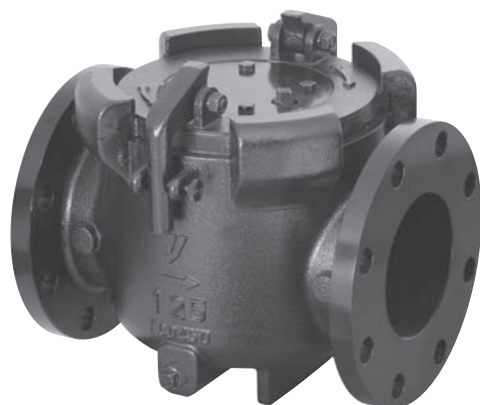


ST-10

ULTRA-STRAINER
NEXST™

Y形	U形	W形(複式)	ストレート形
ステンレス	ナイロン	鋼板製	イージープラグ
JWWA	管端コア	ワンタッチ	高メッシュ対応
ダビット式			



ダビット付

■ 特 長

1. 工具を使わずにスクリーンの交換ができます。
2. 流体の流れと同軸方向にスクリーンを設置しボディを大幅にコンパクト化しました。
3. 電着塗装を施し、耐食性に優れています。

■ 仕 様

呼 び 径	125A~250A ※1	
適 用 流 体	冷温水、油(灯油、A・B重油)、その他非危険流体	
最 高 使 用 圧 力	1.0MPa	
最 高 使 用 温 度	80℃	
接 続	JIS 10K FFフランジ	
取 付 姿 勢	水平・垂直任意 ※2	
材 質	本 体	球状黒鉛鋳鉄
	ス ク リ ー ン	ステンレス鋼
網 目	こ し 筒	φ8-10P
	こ し 網	標準60メッシュ ※3
防 錆 処 理	電着塗装	

※1 250Aはオプションでダビットの取付けが可能です。

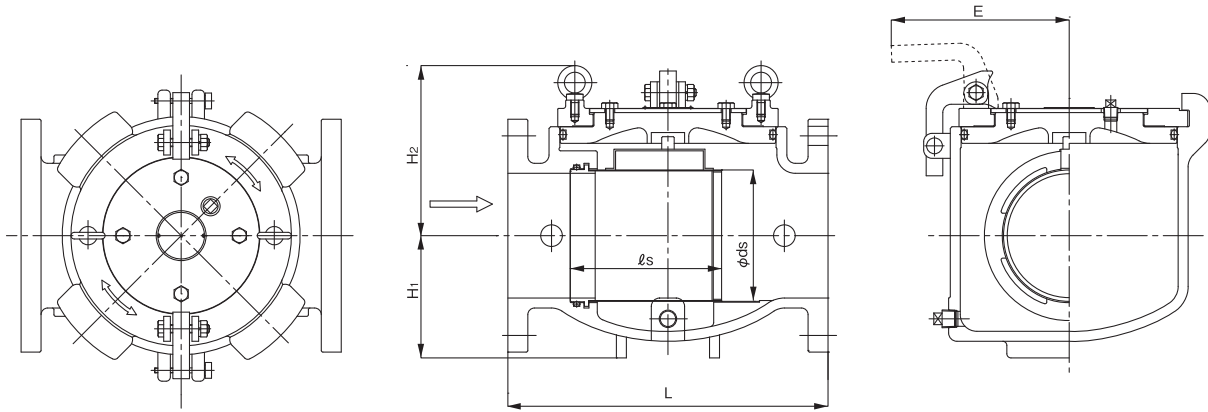
※2 下から上へ流体が流れる場合は、ブローバルブ等の処置が必要です。詳細は配管図例を参照ください。

※3 こし網20、40、80、100メッシュも製作いたします。

■ 寸法及び質量

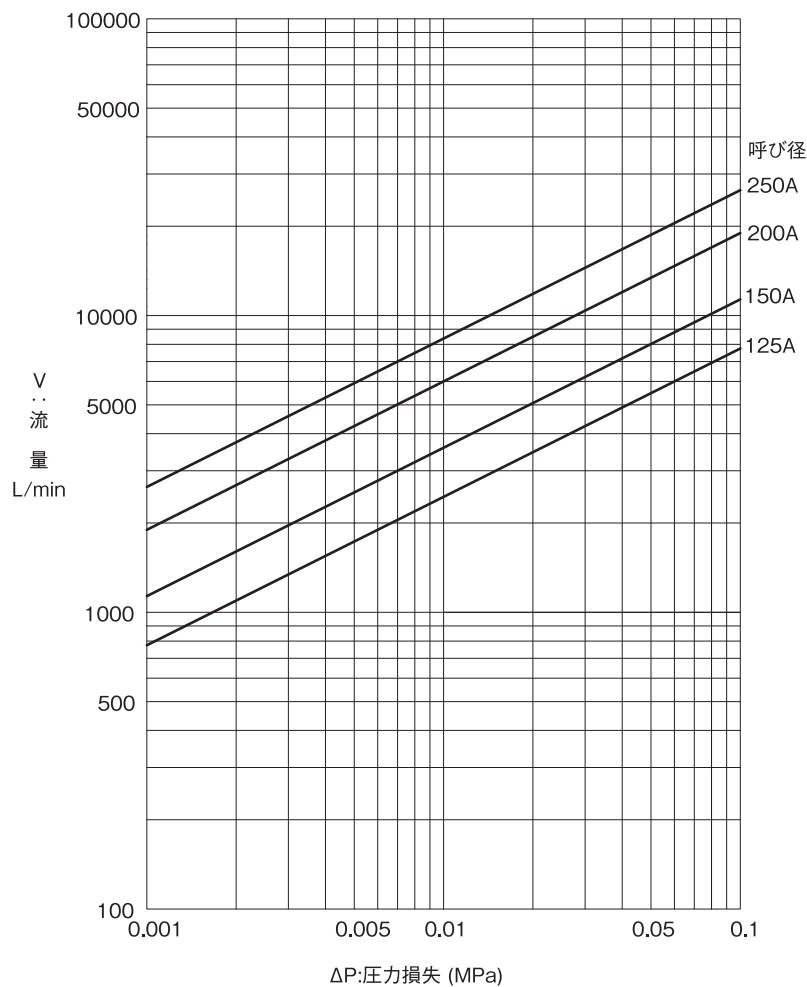
(mm)

呼び径	L	H ₁	H ₂	E	スクリーン		ドレンプラグ	エアベントプラグ	質量 (kg)
					ds	ls			
125A	335	132	180	194	133	154.5	R 1/2	R 3/8	42
150A	385	147	205	214	158	182	R 1/2	R 3/8	60
200A	470	175	240	249	208	228	R 1/2	R 3/8	100
250A	550	215	285	284	258	278	R 1/2	R 3/8	156



■ ST-10型ストレーナ 圧力損失図表(水用)

●スクリーン:こし筒 φ8-10P こし網60メッシュ

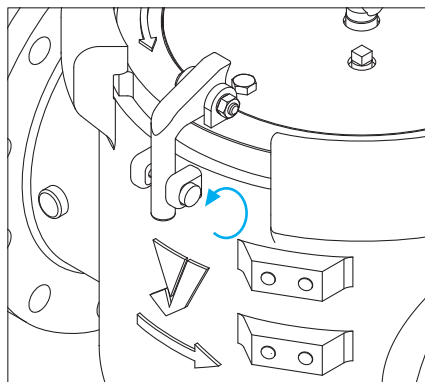


図表の見方、計算例等はP.4-12を参照ください。

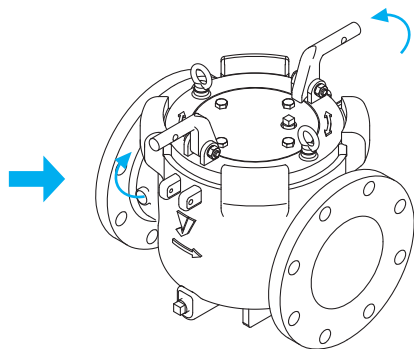
ストレート型ストレーナ

スクリーンの清掃方法 (⚠警告 スクリーンの取り外しは必ず内部圧力を抜いてから行ってください)

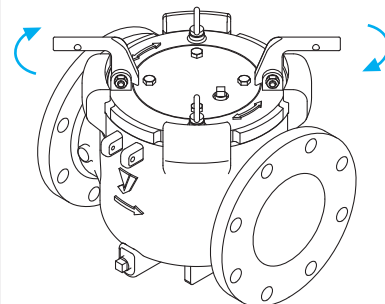
①サムスクリューを外します。



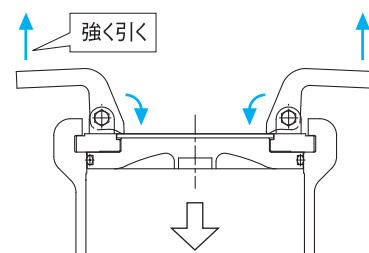
②取手を持ちあげます。



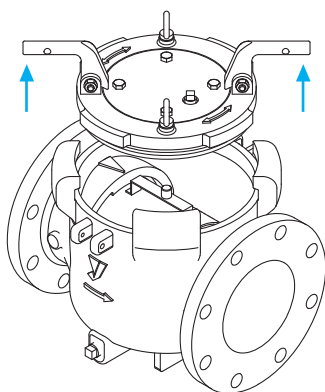
③ストッパーリングを45°回転させます。
※1



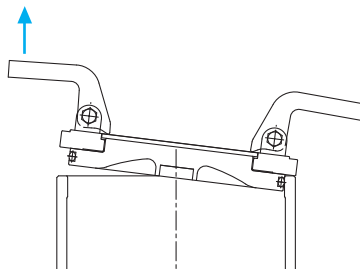
※1 ストッパーリングが回転しにくい場合は、一度取手を強く引き上げてください。ふたが押し下がり、リングが回り易くなります。



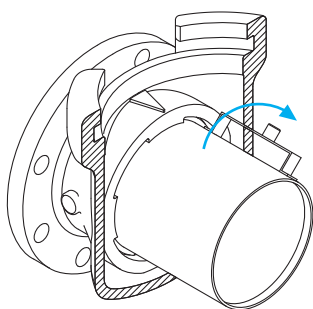
④ふたを外します。※2



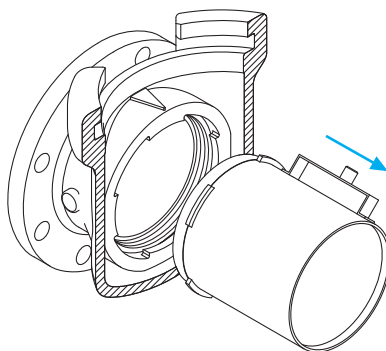
※2 ふたを外す際は、取手を同時に持ち上げるのではなく、片側つつ持ち上げるとOリングの抵抗が少なく外し易くなります。



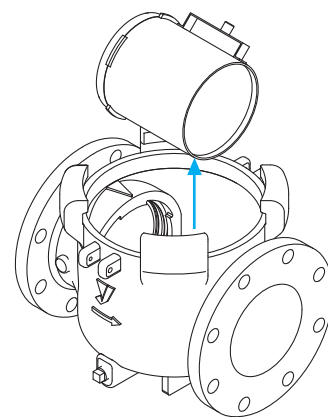
⑤スクリーンを45°回転させます。



⑥スクリーンを引き抜きます。

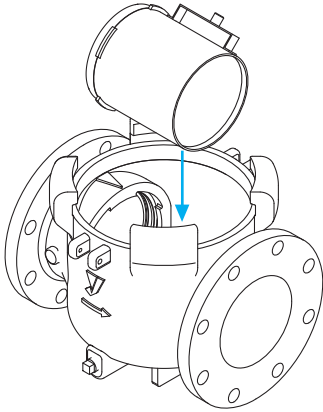


⑦スクリーンは圧縮空気や洗剤等で掃除してください。

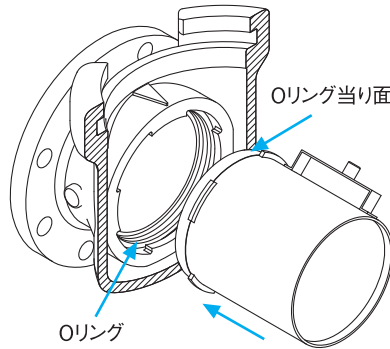


スクリーンの組立方法

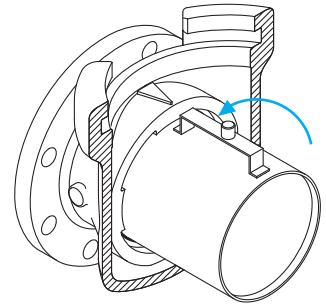
①スクリーンを本体に入れます。



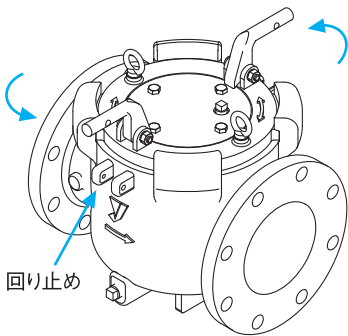
②本体溝部にスクリーンのツメが入るようにスクリーンを差し込みます。この際OリングまたはOリング当り面にグリスを塗布してください。



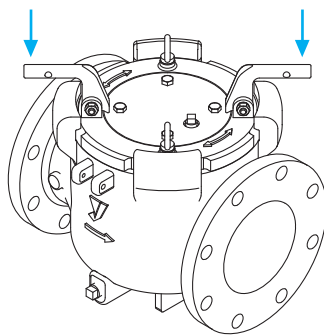
③スクリーンを45°回転させます。※3



⑤取手が回り止めの位置に来るまでストップパーリングを回転させます。

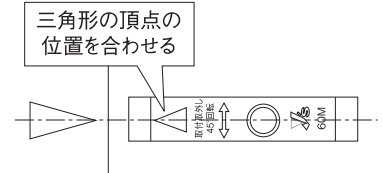


④ふたを本体に取り付けます。ストップパーリングのツメが本体に当たるまで強く押しこんでください。この際OリングまたはOリング当り面にグリスを塗布してください。

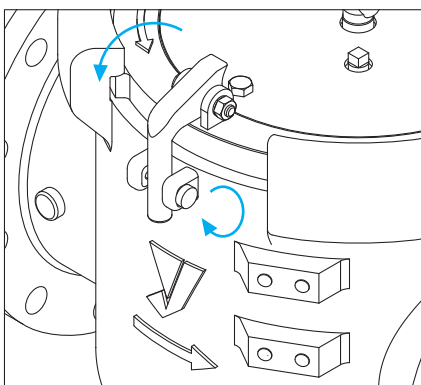


⚠ 注意

※3 本体に鋳出し表示してある三角形とスクリーンの取手に印字してある三角形の頂点が同じ位置になるまで回転させてください。位置がずれていると使用中に外れる恐れがあります。



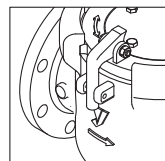
⑥取手を回り止めの間に下ろしサムスクリューを取付けます。※4



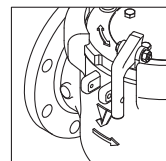
⚠ 警告

※4 製品使用時は必ず取手を回り止めの間に下ろし、サムスクリューを取付けてください。以下のような状態で使用すると、ふたが外れる恐れがあり大変危険です。

✕ サムスクリューがついていない



✕ 取手の位置が回り止めの間にない



■ 配管図例

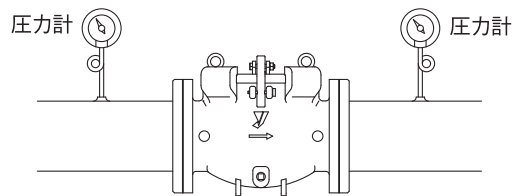


図1

- ①ストレーナの前後に圧力計を取付けると、差圧により目詰りの状態を知ることができます。(図1)
- ②流れ方向が下から上になる配管の場合は、ブローバルブを設けて立ち上り管の最下部に溜まったスケールを取るようによしてください。(図2)

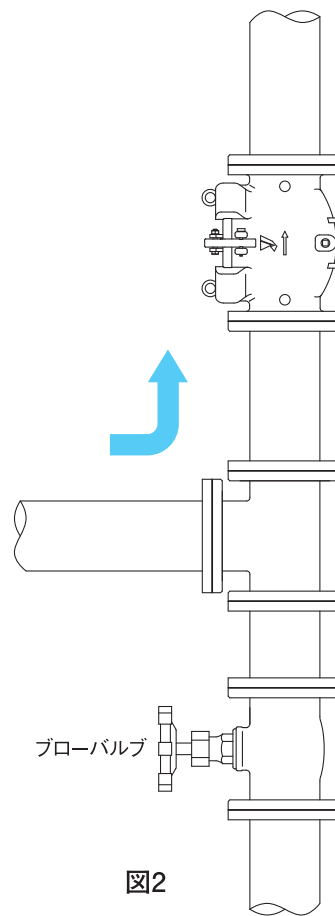
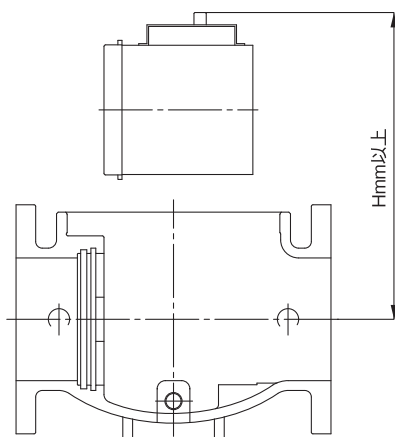


図2

■ 保守・点検スペース



呼び径	H
125A	330
150A	380
200A	470
250A	560